

令和元年 9 月 6 日

あきる野市議会議長 殿

会 派 名 日本共産党あきる野市議団

代表者氏名 たばたあずみ



会派の（ 調査研究 ・ 研修 ） 報告書

このことについて、下記のとおり実施したので報告します。

記

1 調査研究または 研修実施日	令和元年 8 月 8 日（木）
2 調査研究または 研修の場所	全国町村議員会館 2 階大会議室（東京都千代田区一番町 26）
3 調査研究事項 または研修名	地方議員セミナー2019 年夏 「無償化」・規制緩和策の影響と 自治体の保育・学童保育行政 保育の質をいかに守るか
4 参加者氏名 （ 1 名）	松本ゆき子
5 調査研究または 研修の概要及び 感想等	別紙のとおり

※ 自家用車又はレンタカーを使用した場合は、必ず自家用車・レンタカー使用報告書を添付してください。



【概 要】

■講義1 幼児教育・保育の「無償化」と自治体の課題について

(講師 逆井直紀氏)

■自治体の課題に関する報告

報告①認可外保育施設を「無償化」対象にする影響を考える(資料1)

ー安全確保の観点から

(報告者 阿部一美氏)

1. 「無償化」の範囲について
2. 認可外保育施設への立ち入り調査について
3. 保育の質の格差について
4. 子どもの命を守るために

報告②幼児教育・保育の「無償化」と食材費問題について(資料2)

保育所給食政策の後退を許さず、子どもの思いを受けとめ、拡充への歩みを

(報告者 村山祐一氏)

1. 幼児教育・保育の「無償化」政策の本質とは
2. 政府の幼児教育・保育の「無償化」とは
3. 「無償化」による子どもの保育や園運営への影響について
4. 保育所の給食は「食育」であり、社会の責任で保障を

報告③無償化実施に関わる自治体の状況について(資料3)

単独助成や条例化などの先行自治体の状況 (報告者 実方伸子氏)

1. 幼児教育・保育の無償化と自治体財政について
2. 単独補助の動向について
3. 認可外施設の対象を限定する条例制定の状況について

■講義2 学童保育(放課後児童クラブ)の状況と課題について(資料4)

～国基準における職員配置基準の参酌化と、自治体における状況と課題～

(講師 木田保男氏)

1. 学童保育の目的と役割について
2. 「従うべき基準」の動向・・・「全国的な一定水準の質の確保に向けて」

3. 学童保育の現状と課題・・・急増するもまだまだ足りない学童保育
4. 「新・放課後こども総合プラン」と国の学童保育予算について
5. 学童保育運動の課題について

■質疑と交流

【感想等】

10月からの無償化については、幼児教育や保育を必要とする子ども達にとって公平な処置、いわゆる所得制限などなく全ての子ども達が無償化の対象になればと思った。しかし幼児教育・保育の無償化は、子ども達の安全が確保されることが第一である。認可保育所と認可外保育施設とでは設置基準の違いがある。「赤ちゃんの急死を考える会」は、認可外保育施設での死亡事故発生率は、認可施設の25倍になっていると報告している。また認可外保育施設への立ち入り調査自体が不十分な中、調査した施設の4割超が国の指導監督基準に違反しているという。保育の質を考えたときに、無償化以前に国の指導監督基準に満ちた保育の質の確保が優先ではないかと思った。幼稚園、保育所、認定こども園以外の無償化措置の対象範囲に関する検討会報告書では、幸いにも今回の無償化は、利用者の公平性の確保及び質の向上を促進する観点から5年間の経過措置として指導監督の基準を満たしていない場合でも、無償化の対象とする猶予期間を設けることが適当とされた。

学童保育の待機児童対策は、あきる野市でも切実な問題である。指導員の常勤への位置づけと処遇改善の進む市町村もあれば、処遇改善を放置する市町村など自治体任せのところもある。課題が山積みしているのは国の学童保育制度の不十分さが原因である。あきる野市は、学童保育について問題意識をもち努力していると思うが、子ども達の安全と放課後の遊びを保障するためにも、早急に新たな学童クラブ施設を確保してほしいと思った。